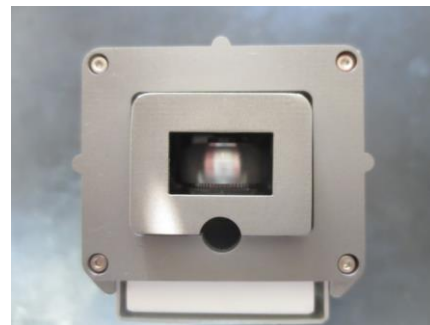


# タッキネスチェッカ<sup>®</sup> 型式 HTC-1

## Tackiness Checker<sup>®</sup>

### 用 途

ゴム部材と補強材を包含した部材を多層に粘着して加硫するタイヤやベルト等の成形工程に於いて部材の粘着力を事前に確認することは、非常に重要な事です。この装置は、現場で部材の粘着力を簡単に測定する装置として開発されたもので、テープ等の粘着力の測定にも応用できます。



【測定部】

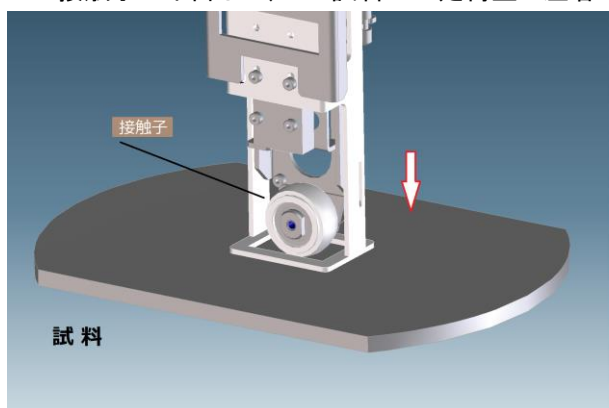
### 特 長

- 小型、軽量で持ち運びが容易です。(1.3kg)
- 現場でタッキネスの測定ができます。
- 装置を測定部材に押し当てるだけで、簡単に測定できます。(自動スタート)
- ラチェット機構により1測定毎に接触子が回転します。
- クリーニングモードで接触子の清掃が簡単にできます。
- 粘着力に影響を与える測定部材の表面温度の測定ができます。(オプション)

## 測定原理

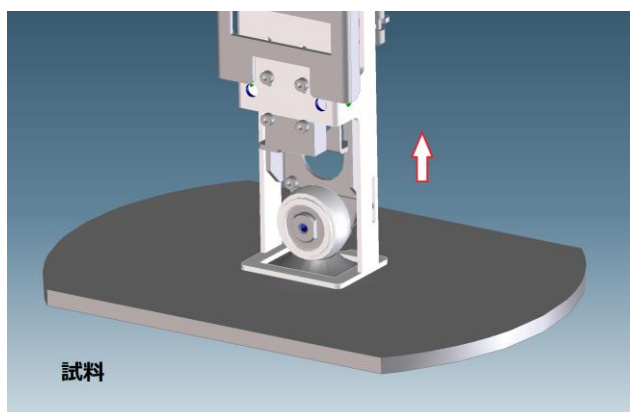
### 【加圧】

接触子が下降して、ゴム試料に一定荷重で圧着



### 【引き剥がし】

剥がれる際、ロードセルに作用する力(粘着力)を測定



## 主な仕様

標準	内容
タック測定方法	ロードセル方式 (最大20N 分解能 0.1N)
接触子圧着力	標準10N (5~12N可変設定可能)
圧着時間	3秒、6秒 (2段階切り替え)
1品種測定回数	1回、3回、5回 (3段階切り替え)
接触子移動速度	約2.3mm/sec
接触子	アルミリング【型式:AL-R1】
測定時間/回	約7秒 (圧着時間3秒の時)
接触子駆動方式	ブラシレスDCモーター起動
接触子回転	自動回転機能付き
試料最小寸法	50×50mm
データ表示器	LCD 16文字2行
測定条件入力(選択)	・サンプル名(4桁数字) ・結果表示(複数の場合---中央値、平均値) ・N数(1、3、5) ・圧着時間(3秒、6秒) ・圧着力(5~12N)
カレンダー機能	日付、時間 (yyyy/mm/dd hh:mm) 2099年迄自動更新
電源	リチウムイオン充電電池 7.4V 2000mA(参考) 満充電状態で連続測定した場合、約1200回測定可能
消費電力	待機時:350mW モーター駆動時:1000mW
外形寸法&質量	約W118×D72×H222mm 1.3 kg
標準付属品	・バッテリー充電器:ACアダプター DC 8.4V 2A(フル充電時間:2時間)・・・1個 ・アルミリング(保持オーリング付)・・・1個 ・オーリング着脱棒・・・1本
<b>オプション</b>	
温度測定モジュール【型式:ST-1】	ゴム試料の表面温度を測定します。---(注1) ・サーモパイル放射温度センサー(内部実装) ・温度測定範囲 5~40℃ 分解能1℃
収納ケース【型式:KS-1】	・本体と付属品を収納するポータブルケース
アルミFリング【型式:AL-F1】	・アルミRリングと比較して接地面積を増やしタック値を高く検出できます(接触部分はフラット)
フラット面圧子【型式:AL-M1】	・RリングやFリングでは、低い値しか得られない場合に使用します

(注1) 温度は測定物の放射率によって変化します。この製品はゴムの放射率( $\varepsilon \approx 0.95$ )に合わせてあります。従って放射率が大きく異なる他の物質の温度は正しく表示されません。

2018.11

材料試験機の総合メーカー

 株式会社 **東洋精機** 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4 TEL03-3916-8181 FAX03-3916-8173  
大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3(豊田ビル) TEL06-6386-2851 FAX06-6330-7438  
名古屋支店 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31(千種ビル) TEL052-933-0491 FAX052-933-0591

[www.toyoseiki.co.jp](http://www.toyoseiki.co.jp)

●記載内容は改良のため変更することがあります